

楽器の森

岳本恭治

P.97 ~ 98

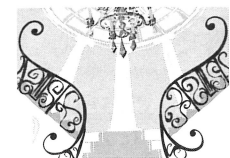
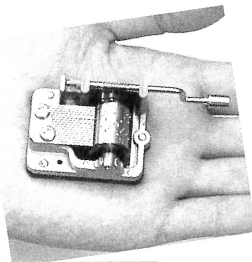
ピアノの本体は、弦楽器同様、木でできています。ハンマーが弦を打った瞬間の音はとても弱いので、楽器全体を共鳴箱として、弦の振動を増幅しなければなりません。そのためには、音を効率良く伝達させる木が最も適しています。

どのピアノも同じ木でできているように見えますが、その素材と作り方には2種類があります。1つは、カエデなどの比較的軽く硬い木を薄い板にして何枚か接着した合板を、グランドピアノの形に強い力をかけて加工する方法。もう1つは、弦の振動を直接増幅する響板に使用するような、軽くて優れた伝達性を発揮するフィヒテ(スプルース)の一枚板に、切り込みを入れて少ない力でグランドピアノの形に加工する方法です。アップライトピアノにも、同様に2種類の素材があります。いずれにしても、木を利用して楽器全体を効率良く響かせるように工夫されています。この木の響きは、オルゴールを本体や屋根、鍵盤蓋などに接触させて鳴らしてみると、かなり明瞭に聴くことができます。各部分において鳴り方が若干違いますので、それぞれの響きを比較してください。

ピアノの音も、生徒自身が弾く位置で聴く音、先生が立ったり座ったりしている位置で聴く音、さらにもっとピアノから離れて聴く音とで、それぞれ音量と響き方が違います。大きすぎる、かすれている、詰まっている、強弱がしっかりとついていないことなどがよくわかり、肩、上腕、前腕、手首、指に余分な力を入れて脱力できていないことも、理解しやすくなります。ぜひ木の響きをしっかりと聴く訓練をさせてください。



実験には写真のような手のひらサイズのオルゴールがオススメ。写真はニューヨークのデザインブランドKICKERLANDによる手動式のオルゴールMUSIC BOX。これを2名様にプレゼント！ 応募方法は82ページ。



音楽史の館

小宮正安

P.99 ~ 100

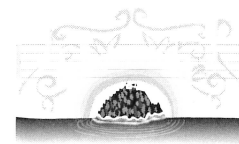
解説

ショパンがサロンでの演奏を好み、サロンのためにたくさんの曲を書いたことはよく知られているところです。ただしサロンでの演奏は、けっして生真面目な雰囲気の中でおこなわれたものではありませんでした。むしろゲームや飲食やダンスと同様、「人生の楽しみ」の一環として音楽が奏でられていました。ショパンの作品によく「華麗なる○○」というタイトルのものがあるのも、それこそ華麗な曲想によってサロンに集った裕福な人々のハートを掴み、人気を博すための作戦でもあったのです。

ただし、コンサートホールでの演奏会とは異なり、サロンでの演奏会は親戚や友人など、ごく限られた人々が集まる親密なものでした。そのため、コンサートホールでの演奏のように不特定多数の人々をノックアウトするというよりも、むしろある程度の限られた人数のために語りかけるような弾き方や曲目を選ぶことが大切だったのです。ショパンの作品が派手さ一辺倒ではない繊細さを十二分に具えているのも、まさにそうした背景があったからでしょう。

このように考えると、現在のように巨大なホールの中で、しかも身じろぎひとつ許されないような緊迫した空気の中でショパンの曲が演奏されるといった状況は、彼が生きていた当時の人々からすればけっして普通ではなかったことが分かりますね。彼の曲が響いたサロンの様子を想像して演奏をすれば、また違った捉え方ができると思います。

※なお19世紀初頭のサロンの様子については、姉妹誌『レコード芸術』6月号所収の「ウィーン楽友協会のアルヒーフより」(O・ビーバ著 筆者訳)にも様々なことが書かれています。興味のある方は、そちらも併せてお読みください。



譜読みの島 第5回

池川礼子

P.102 ~ 103

第4回では2度の音程、第5回では3度の音程を中心にドリルを作りました。

メロディーの約90%は、この2度と3度でできています。ということは、楽譜を読むとき、めがねのような2度と、お団子のような3度を見分け、即、音につなげることができれば、楽譜の90%は初見で弾けるはず！ この考えに基づき私が開発した「楽譜を速く確実に読む方法」が、「即読譜法」です。

「譜読みの島」に応用しているのは、そのほんの一部ですが、それでも、このドリルで学んだことがピアノ演奏に結びつけられるようになると、譜読みが得意になると思います。今回の「3度探し」や、「どみそしれふぁらど・・・」の「音名のひとつ飛ばし」の基本が身につくと、生徒さんの読譜力アップにつながるとうれしいです。

3では「なるべくちがう高さの音を」としましたが、実はト音記号の「ら」が3つあります。高さの異なる音を書くには、2つは加線が必要になります。全部違う高さで書けたら、ほめてあげてくださいね。

時計のイラストの横にある時間を書き込む欄は、ドリルができるまでの時間を計ることで、生徒さんの気合が少し入るかな？と思って入れてみました。ニコニコマークは、全問正解した生徒さんや、がんばっている生徒さんに色を塗ってあげても良いと思います。先生のアイディアでご自由にお使いください。

【答え】 ※ 1 4 の答えは、省略いたします。

2 の答えは、 七 ひき。

3 (1) フ (5) ンス (2) (ど) イツ (3) オ (5) ンダ
(4) ロ(シ)ア (5) オースト(5)リア (6) ブ (5) (シ)ル
(7) アイル (5) ン (ど) (8) (ど) ミニカ共和国

5 の答えは、以下のとおりです。

スタート →

ゴール

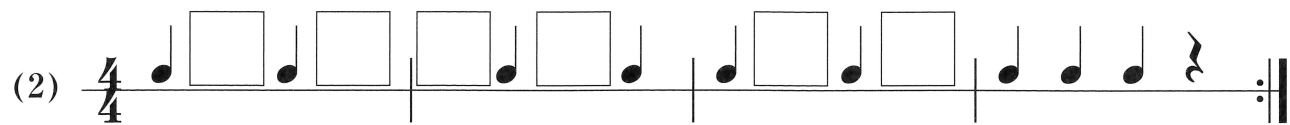
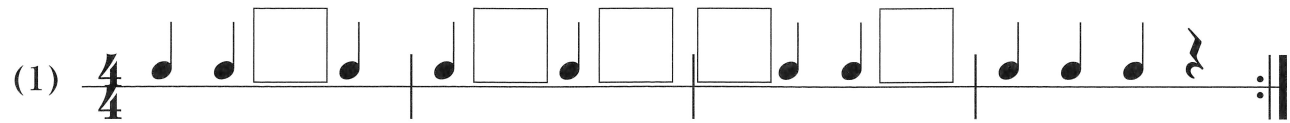


リズムドリル 1

問題作成・イラスト:
丹内真弓先生

① 下のリズム譜の拍子は? 答え: 分の 拍子

② ひとつに、何拍分のリズムが入るかな? 答え: 拍分



リズムをつくろう!

初級コース

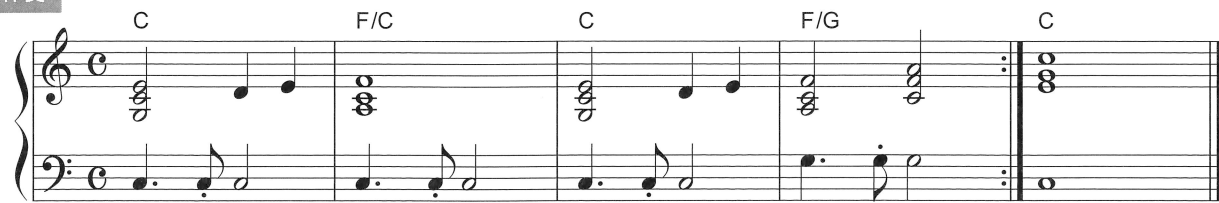
③ 上のリズム譜の の中に、 から好きなリズムをえらんで書きこもう。何とおりにくれるかな?

トレーニング 1 ① つくったリズムをたたいてみよう。手拍子、タンバリン、何でもOK!

トレーニング 2 ② 先生のピアノ伴奏に合わせてみよう。リピートを忘れないように。

トレーニング 3 ③ 先生やお友達といっしょに(1)と(2)を同時にたたいて、リズム・アンサンブルをしてみよう。相手のリズムにつられないように、でも、相手のリズムもしっかり聴いてね!

先生の伴奏



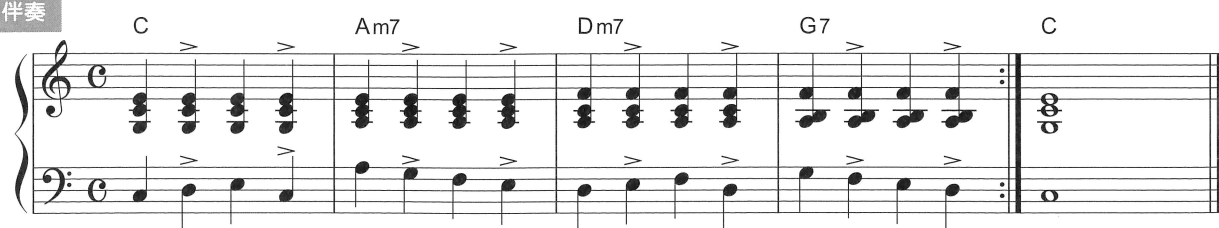
中級コース

左手の軽やかなリズムをよく聴きながらリズムをたたこう!

④ 今度は の中に、 から好きなリズムをえらんで入れてみよう。ジャズとよばれる音楽みたいなリズムが作れるよ。初級コースと同じように、トレーニング1~3もやってみてね。

先生の伴奏

先生の伴奏には、2拍目と4拍目に軽くアクセントがつくよ。



クイズドリルで音楽大冒険

第5回

ピアノ その3

楽器の森

問題作成: 岳本恭治先生
イラスト: 駿高泰子

クイズ ①

ピアノの外側の箱は、何でできているのだろう?

ヒント

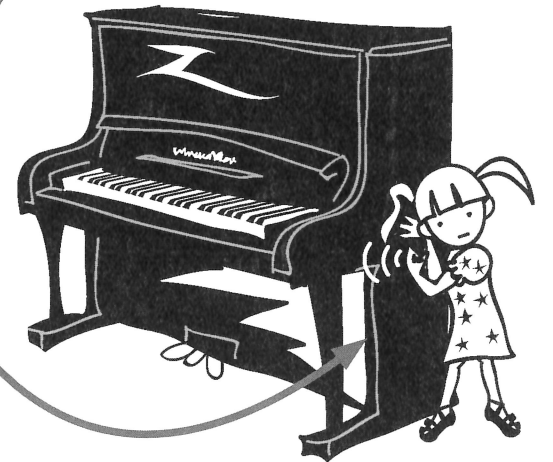
ゲンコツで本体を叩いてみよう(軽く叩いてね!)。どんな音がするかな。同じような音を、どこかで聞いたことはない?



外側の箱のことを、本体というんだよ。

クイズ ②

本体にオルゴールを置くと、オルゴールの音の大きさはどうなるだろう?



正解は裏を見てね



せい かい
正 解

クイズ ① 木

ほんたいをゲンコツで軽く叩くと、コンコンという音がするね。お家のタンスを叩いてみても、同じような音がするよ。これは木の音なんだ。グランドピアノもアップライトピアノも、屋根を開けて中をのぞくと、板目(木の模様)が見えて、本体が木でできていることがわかるよ。

ピアノが発明される前の時代から使われていたチェンバロの本体も、木で作られていたんだ。ピアノの本体は、それをさらに頑丈にしたものなんだよ。釘などを使っているわけではないけれど、楽器製作の技術が進歩したんだね。

グランドピアノのケースを上から見ると、面白い形をしているね。高い音の弦は短く、低い音の弦は長いから、その長さに合わせて作ったんだ。こうすると音の響き方がとても良くなるからね。

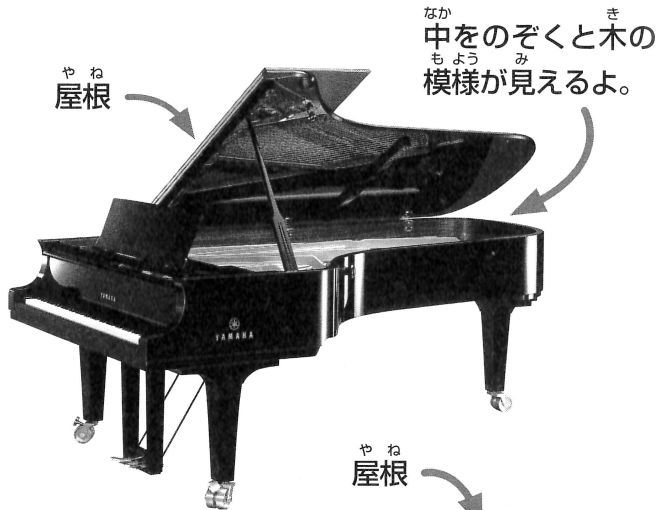
クイズ ② おお 大きくなる

4月号で説明したとおり、ピアノの音は弦が振動して発生しているんだけど、その音はとても小さいんだ。そこで、音の振動をよく伝えることができる木で外側の本体を作り、本体の全体に音が鳴り響くようにしているんだ。

オルゴールを置く場所によって、音の大きさや響き方も変わるから、実験してみてね。みんなが弾くピアノの音も、聴く場所によって違った聴こえ方をするんだよ。友達が弾いているときに離れた場所で聴いてみたりして、自分が弾いているときの聴こえ方とどのよう違うか、確かめてみよう。



おと
どんな音が
するかな？



なか
中をのぞくと木の
模様が見えるよ。



アップライトピアノも屋根を開けてのぞいてみよう。お落ちないように気をつけてね！



グランドピアノを上から見ると...

写真提供：ヤマハ株式会社

解説 P.88

だい 5 かい
第 5 回 おんがく
ショパンの音楽



こ みやまさやす せんせい
問題作成：小宮正安 先生
す だかやす こ
イラスト 駿高泰子

こんかい
今回のクイズは、ことし わ だい ざっきょくか
今年話題の作曲家、ショパンについてだよ。

もんだい
問題 1

ショパンが生きていたころ、お金持ちの市民の家にはほとんどの場合、右の絵のような部屋があった。このような部屋は何て呼ばれていたと思う？



- ① リビングルーム
- ② サロン
- ③ スタジオ

もんだい
問題 2

音楽が好きな市民は、右上のような部屋にお客さんを招いてよく演奏会を開いていたよ。そのような演奏会の途中で、お客さんが必ずしもしなくてよかったことはどれ？

- ① 静かに音楽を聴く
- ② トランプなどでゲームをする
- ③ 飲み物を飲む

もんだい
問題 3

お金持ちの市民は、演奏会の他にもこのような部屋であることをする場合が多かったよ。何だろう？

- ① 反省会
- ② 花見会
- ③ 舞踏会

